

「一人が皆のために、皆が一人のために」
大栄クラブルーキーズ

市民の
ひろば

7

July



気合いが入るバッティング練習

わたしたち大栄クラブルーキーズは地元の小学生20人で活動している野球チームです。

練習は毎週土・日曜日に日本自動車大学校のグラウンドでバッティングや投球練習などを行っていて、特に守備練習に力を入れています。

チームのモットーは、大きな声であいさつすることと機敏な行動を心掛けることで、私たちを指導してくださる大久保監督は「一人が皆のために、皆が一人のために協力できるチームでいることが大切だ」とおっしゃいます。

野球はチームワークが大切なスポーツ

なので、試合形式で練習をするときなどは、ボール回しの連携がうまくいくように気を付けています。声を掛け合ってプレーすることで、チームメイト同士の団結力も強くなり、守備するときのミスも減っていると思います。

練習中は、監督やコーチが一つひとつのプレーについて、バッティングのこつや、どうしたら確実にボールをキャッチできるようなるかなどを指導してくれます。試合の中で、そういった練習の成果を出せたときはとてもうれしく、野球をやっているとよかったと感じることがあります。

5月に行われた千葉ロッテ杯では優勝を勝ち取ることができましたが、今後は県大会出場を目指して、頑張っていきたいと思っています。



キャプテンの小貫選手
「チームメイトの団結力が強まるよう、キャプテンとしてチームを引っ張っていきたいです」

赤城登山と 大沼の水の冷たさ

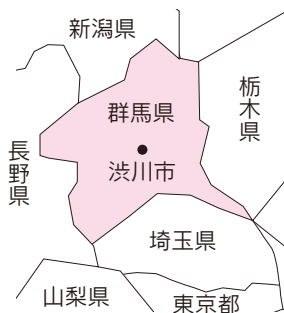
佐鳥守さん(成井)

わたしのふるさととは、群馬県渋川市赤城町です。合併前は赤城村、わたしが少年時代を過ごしたころは、敷島村といい、上毛三山の一つ赤城山のふもとの長井小川田地区で育ちました。

実は、生まれは市川の国府台。その後、軍人だった父とともに、満州へ。終戦は北京で迎え、命からがら帰ってきたのが、母の実家の群馬県でした。家の近くを流れる沼尾川では、川をせきとめたプールでよく泳ぎました。この川は赤城山の頂上にある大沼から流れてきています。大沼とって思い出すのが小学校の遠足で赤城山に登ったときのこと。おじいさんに作ってもらった藁草履を履き、友達と一生懸命登りました。登っているときは体がすっかり熱く



富士山に次ぐ裾野の広さを誇る赤城山



なっていて、上にいったら大沼で泳ごうと話していたのに、沼に足を入れたらその冷たいこと、結局誰も泳がずに降りてきたことが思い出されます。

就職で前橋の製糸工場へ。そ

の後東京で40年以上運転の仕事をし、定年後平成11年に下総の地へ。中国、群馬、東京と住んだどの場所にも思い出がありますが、今は、ここ下総の静かな環境が気に入っています。自治会活動やグラウンドゴルフなどを通じて多くの知り合いもできました。川崎に住む孫も「おじいちゃんの家でカエルを捕るのが楽しみ」と、遊びに来てくれます。今では、わたしにとっても、そして、子や孫にとっても成田がふるさとになります。



ペット大好き

109



菊地 幸一さん(本三里塚)
ジャム(オス)

肉、野菜と好き嫌いのないジャム。何でもよく食べます。朝・夕2回の散歩が日課で、いつも一緒にお出掛け。知らない人を見るとよくほえ、我が家の番犬として大活躍中です。



高塚 心美ちゃん(中台)

こんにちは赤ちゃん

128



鳥羽 あいりちゃん(宗吾)

スクスクのびのび

333

長坂 陸也くん(4歳)玉造
隼人ちゃん(0歳)

お祭り大好き！山車を引いたり、山車の上で笛を吹いているパパに「頑張って」、って手を振ったりするのが楽しいよ。今頑張っていることは、日曜日にパパと一緒にいるラグビー教室。早く上手になりたいな。

